METHOD FOR CONTROLLING REAL TIME TYPE INTERNET FACSIMILE COMMUNICATION SYSTEM

Publication number: JP2000354127 Publication date: 2000-12-19

Inventor: KAJIWARA TOMOHITO

Applicant: RICOH KK

Classification: - international:

onal: H04N1/00; H04N1/32; H04N1/00; H04N1/32; (IPC1-7):

H04N1/00; H04L12/28; H04L12/46; H04L12/66;

H04N1/32

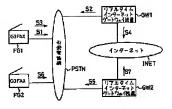
- European:

Application number: JP19990164780 19990611 Priority number(s): JP19990164780 19990611

Report a data error here

Abstract of .IP2000354127

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the increase of communication charge by receiving, storing image information from group 3 facsimile equipment on the transmission side and transmitting the stored image information to group 3 facsimile equipment on the reception side at the time when the group 3 facsimile equipment on the reception side becomes receivable. SOLUTION: A real time communication path is formed between the G3-FAX equipment FG1 and the G3-FAX equipment FG2 by forming a communication path between the G3-FAX equipment FG1 and a real time Internet gateway equipment GW1 via a public service telephone network PSTN, forming a communication path between the gateway device GW1 and a gateway device GW2 via the Internet INET and forming a communication path between the gateway device GW2 and the G3-FAX device FG2 via the public service telephone network PSTN. Then the real time communication path is used and the image information is transmitted from the G3-FAX equipment FG1 to the G3-FAX equipment FG2.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

7/17/2007

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-354127

(P2000-354127A)
(43)公開日 平成12年12月19日(2000.12.19)

(51) Int.Cl.7		識別都号	FΙ	デーマコート*(参考)
H04N	1/00	107	H04N 1/00	107Z 5C062
H04L	12/46		1/32	Z 5C075
	12/28		HO4L 11/00	310C 5K030
	12/66		11/20	B 5K033
H 0 4 N	1/32			9A001
			審査請求 未請求	R 請求項の数4 OL (全 14 頁

(21)出顯番号	特顯平11-164780		
(22) 出顧日	平成11年6月11日(1999.6.11)		

(71)出頭人 000006747

株式会社リコー 東京都大田区中馬込1 F目3番6号

(72)発明者 祝原 智仁

東京都大田区中馬込1 『目3番6号 株式 会計リコー内

(74)代理人 100083231

弁理士 紋田 誠

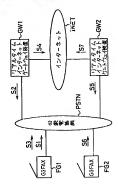
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 リアルタイム型インターネットファクシミリ通信システムの制御方法

(57)【要約】

【課題】 通信料金の上昇を低減できるリアルタイム型 インターネットファクシミリ通信システムの制御方法を 提供することを目的としている。

【解決手段】 送信側の 3 F A X x から送信要求があり、 送信制の W x 安信側の 3 F A X x との間に回線が確立した かった場合には、送信側の W は、送信側の 3 F A X x から 送信制解機を代子受信し、その後、所定間隔で受信側の Wに対して、受信側の 3 F A X x との間に回線を 確立できた時点で、疑似リアルタイム伝送手順を実行し て、代子受信して新した。可能を受信側の 3 F A X x との間に回線を 確立できた時点で、疑似リアルタイム伝送手順を実行し て、代子受信して新した。可能のを受信側の 3 F A X x との信 に割なからない。 送信するので、無駄に回線を使用することができるという 効果を得る。



ーやく 7型 ムトを 小て いる も 3 類 軒 る うこる ヤ 計 送 八 置 蒸りミンクヤてモヤーハを開創を活工、J流計をイーホ √監裁るで映画を旨立して記割数、J割数へ衝襲せきぐ ペヤてとて一八人明司受る婚前画ぶし新春の子、プ京和 さっない銀両計受益蓄禁リミシャマとて一ついり側割受 、J 新番ブノ計受き降計画も位置装リミジウィてモヤー 1/7時間表、J際識を記載せきぐりすてもて一小やう間 の3面装せきぐやマスミヤーハヤ側割数、剝込れき、J 個中多事機計能リミジクセヒイッネーをマト型ムトを パイリ 、3.5 で出版を中小誘張むびま中語の重張リミジ ペヤスをペーパペ側討受ブバで基づ解剤がし診受さな置 薬トェやイーヤイャネーをくトムトをハヤリ鳴計受、J *実験器/重装トェウイーヤイペネーをくトムトを小 てい明計受の宝河、ブ脚氷さしは重き号番話』の置装い ミマクァてミヤーハヤ側引受される底紙、3.541計れ受 **多様項部込いよ直続いミシャファマミアーハク側割送、料** 直端トェウィーヤイベネーをベトムトを小てい側割送

、フィッといまた戦争方法において、

ミベルエイトルキーをベト型ムトをハヤリるなら位置器 リミンクマスとて一小人の機動るや計画時計画フィノ用を 悪難トェウィーヤイッネーをベトムトを小ていのこ、3 置義トェやイーゼイャネーをベトムトをハヤリの機動力 太剛を調動部紙リミンクマ てイッネーをント型ムトを小 ていたJ独地5185 . T 告幡T-UTI 【2原本輔】 。忠式戦争のムマ太公割無リミジやマてイッネーをント 型ムトセパヤリるヤと微特をとこるや割払へ置装しまぐ ペイスをヤーバベ側割受る婚前曲なし新番の多、少点報 **ホーない消車引受み衝撲リミシクヤてモヤーハや順割受** 、J教書ブリ司受を弥削両る位置続いミジクヤスをヤー いて側割送、J弥貅を割断いミジカヤてモヤーハヤブ間 の3個装Uミジャイとアーハイ側引送、却以れそ、J 相中る計機制紙リミジクセヒイベネーをベト型ムトを ハヤリ 、 よるや出熱を厄不鱗独むかま中話の雪葉リミジ クヤてETーバで制計受ブバで基5時計ぶし割受され置 葉トェウィーやイベホーをくトムトをハてし順割受 、J 宋要誘我へ置装トェウイーやイッネーやくトムトやい てい則計受の宝清、⑦郷氷六人成脈多号番話』の置葉い ミミクァてミヤーハや側割受されら味厳、 くるわかり受 多原効計数でよ置葉しミンクァスをヤーハを順計数、お 置業トェやイーやイャネーをくトムトをハヤリ側割送

[0000]

【 後頭の詳細な説明】 【 1 0 0 0 】

ミベクイクイベネーをベト型ムトをパイリるなられ面裏

5 無き組織品施しぎるヘアイマネセペンを貼んたれる 選続トエペイーゲイネイーペーなくトムトをハていの複雑な 可能トエペイーゲイマイーペーとしたようなハマいのコ、3 ビジストでドアーバへの複雑なも高品排料高ブル用き ぎょなトでイベネーなくト型よりを小ているならの置装 【従来の技術】近年、インターネット上でやりとりする 電子メールを用いて、ファクシミリ画情報を通信する通 信システム(以下、「メール型インターネットファクシ ミリ通信システム」という。)が実用されるようになっ てきている。このような通信システムについては、IE TF (Internet Engineering T ask Force)というインターネットに関する技 術内容をまとめている組織から発行されているRFC (Request For Comments) 230 1~2306により、その技術内容が規定されている。 【0003】しかしながら、このメール型インターネッ トファクシミリ通信システムでは、送信側ファクシミリ 装置と最終宛先ファクシミリ装置が直接通信するわけで はないので、ファクシミリ装置相互間における通信能力 の確認が即時的に行えず、そのために、ファクシミリ装 置の種々の機能(解像度、画像処理能力など)を利用し た画情報通信を行えないという事態を生じる。また、通 信結果の通知も即時的に行えないので、送信側ユーザに 通信結果が通知されるまで時間がかかり、再送信などの 必要性が生じた場合の対処が遅れるという事態も生じ

【0004】そこで、インターネットを利用したファクショリ通信システムとして、公衆順を介してファクショリ装置と画情報をやりとりする機能を伺えるリアルクギーターネットを介して情報をやりとりする機能を伺えるリアルクイムターネットゲートウェイファクショリ装置のファクショリ装置のファクショリ装置のファクショリを引なりでは、インターネットでカインファスショリを引いている。 現するリアルタイム型インターネットゲートウェイファクショリ機能をリアルタイム屋、インターネットファクショリ機能・システムが提案されつつある。かかもリアルタイム型インターネットファクショリ語に、TTU-T助告T.38にまとまり、公表される子でするも。

[0005] このようなリアルタイム型ペンターネット ファクシミリ通信システムでは、送信間アフクシミリ装 成は送信間リアルタイムインターネットゲートウェイフ ァクシミリ装置へ発呼して、宛先電話番号を通知し、送 信間リアルタイムインターネットゲートウェイファクシ ミリ装置では、変信側リアルタイムインターネットゲートウェイファクシミリ 装置より通知された宛先電話番号を通知して、接続要求 する。

【0006】受信閥リアルタイムインターネットゲートウェイファクシミリ装置は、通知された境先電話番号へが乗り、一線が確立すると、受信側ファクシミリ装置との間で所定のグループ3ファクシミリ伝送手順を開始するとともに、所定のリアルタイム公よチース・カートウェイファクシミリ装置は、送信側リアルタイムインターネットゲートウェイファクシミリ装置は、送信間グルー

ア3ファクシミリ装置との間でグルーア3ファクシミリ 伝送手順を開始するとともに、受信側リアルタイムイン ターネットゲートウェイファクシミリ装置との間で所定 のリアルタイム伝送手順を実行する。

[0008] その結果、送信側ファクシミリ装置は、送信側リアルタイムインターネットゲートウェイファクシリ装置、インターネット、安信側リアルタイムインターネットゲートウェイファクシミリ装置を介し、安信側ファクシミリ装置を介し、安信側ファクシミリ装置をの間でリアルタイムなファクシミリ通信が可能となり、リアルタイムに画情報を送信できる。

[00109] したがって、このリアルタイム型インター ネットファクシミリ遺信システムでは、ファクシミリ装 置相互間に計けも通信能力の確認がリアルタイムに行え るので、送信間ファクシミリ装置が直に、受信側ファクシミ リ装置の通信能力に応じた画情情を必然できるとした。通信指案を即呼に得るので、再送動作などを迅速に 行うことができる。 [00101]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このようなリアルタイム型インターネットファクシミリ通信システムには、次のような不都合がある。

[0011] すなわち、このリアルタイム型インターネットファクシミリ遠信システムでは、企衆電影構の回線 を、送信酬ファクシミリ装置と受付側リアルタイムインターネットゲートウェイ装置と受信 側リアルタイムインターネットゲートウェイ装置と受信 側ファクシミリ装置との間に確立する必要がある。

【0012】 したがって、法信関ファクシミリ装置が、 サービスを受けるために、受付関リアルタイムインター ネットゲートウェイ装置へ発呼し、それにより、送信間 ファクシミリ装配と受信側リアルタイムインターネット ゲートウェイ装型との間で国線が確立したとしても、例 えば、受信間ファクシミリ装置の回磁がビジーであり、 リモート側リアルタイムインターネットゲートウェイ装 返と受信側ファクシミリ装置の一間の総が確立できない 場合には、送信間ファクシミリ表置との間のファクシミリ リ装置との間のファクシミリ表でといる。 送信間ファクシミリ表では、この場合、

【0013】このとき、送信側ファクシミリ装置と受付 側リアルタイムインターネットゲートウェイ装置との間 には、回線が確立するので、送信側ファクシミリ装置に は、課金が発生し、このような再発呼が頻発すると、通 信料金がかさむという不具合生生じる。

【0014】もともと、リアルタイム型インターネット ファクシミリ適信システムは、適信料金を低減できると いう効果も備えているが、このような再発呼が頻発する と、この通信料金の低減効果が減殺されるという不具合 を生じる。

【0015】本発明は、かかる実情に鑑みてなされたも

. 687033131

ぐよるで記述へ衝突リミジクマスをヤー4(代順計送5計土 、J.別朴をイーホイ薊羝るや成脈を冒立して完罰逝 、J **割払へ強張いミジヤヤくをヤーハヤ側割受を解削両**さ J)新薔の子、ツ点袖ホッな5)諸市副受み置差リミジやヤ マミヤールで側引受、J教舎フノ司受る併計画され置装 リシミリ通信を継続し、送信側がハーア3ファクシミリ **ャマミヤーバペツ間の3重義リミジペヤてミヤーバ火側 副巻、桑吹びき、ノ州中を料機副動せきぐやヤぐイベネ** ーキント型ムトをハヤリ、3.5や出酵を下不酵類おみま 中語の演奏リミジャイとでーイルを制引受ブバで基づ解 計式し割受らな置装トェやイーヤイャネーをくトムトを 小てい関討受 , J 永要誘致へ雪装トェやイーヤイッキー **やくトムトや小でU順計受の宝洞、ブ源状式JREMを号 沓指罪の重張リミシャマスモベーバを関系される以紙** 、3.544付付受多勝効割送で3.5美リミジクヤて6"でー 4/7側記法、お酒業トェウイーやイッキーやベトムトや ハヤリ側割銭 , ブロおいまは新木崎崎のムヤスく割重リミジ んとく イッポー やく 下壁 み トをくげて じるならべ 直義 じき ぐペヤて 8.ヤーハヤの嫌歎 8.ヤ 引重解計画 ブル用 8 置装 トェウィーヤイャネーをくトムトを小ていのこ、3面装 トェウィーゼイャホーをベトムトを小ていの機断式え齢 **多浦麹計画リミジやヤマイッネーやント壁ムトや小ヤリ** ☆J機準388、T当借T-UTI、☆生【7100】 *みなうのものようにしたものである。 てミヤーハで側引受を辨計画さし新蕃のき、 プ点報立っ ない頭に引受べ重義リミシクキスをペーパを閲覧受 、J 所番ブリコ受き砕計画られ置装リミジクヤスミヤール で開言法、J 誘拗を計風リミジクヤマミヤーハヤブ間の 3番銭リミジャヤマモヤーハル側割送、剝込れず、J相 中冬沖磯部町リミジやヤベイヤホーをベト型ムトを小ヤ U、3.4を出始をjm不誘致なjなま中語の置端Uミジやマ てをヤーハや脚引受フィン・基二発針なし割受る・化面装ト ェウィーヤイッホーをベトムトを小てい明計受 、 J 永要 対影へ直義トエヤイーヤイ マホーを マトムトを 小て U関 **高受の宝荷、字郷状六ノは重き号番諸軍の雷装**Uミジや TCE てーいた側引受される成脈、 くるわかり受多勝効 **割送しよ置義しミジクァてミヤーハヤ側割送、紅雪葉ト** ェウィーヤイャネーをントムトをハてい剛計逝、ブいは こ) 法式解除の ムキス く 診断 リ ミ く ケ ャ て イ ゃ ネー を く ト 型ムトタバヤリるから位置器リミジクァスミヤーバやの **残黙るや割瓶時計画アい用き置義トェウイーやイッキー そくトムトをパイリのこ、3直義トェウィーゼイャネー ペントムトやハヤリの機断式を勘を消費罰配りミジやマ** マイャネーをくた型Aトをいていまし続率518E . T音

储T-UTI、4、視解本【 段手のめさるや光鞘多膜端】

多法式時時のムモスン部趾リミンクァてイッネータント

虚ムトやパヤリる多で減過を具土の金件訂紙、(& つの

[9100]

*るいてJ と独目をとこるを制数

例を示している。 (10022) このリアルタイム型インテート とミリ通信ンテムは、公室電話網PSTVに基礎され とミリ通信ンテムは、公室電話網PSTVに基礎され でアーフランテムは、公室電話網PSTVに対している に対し、PG2との間でファンミリ連信を打場能 で同1、PG2との間でファンミリ連信を打場能 と、ゲルーア3ファクシミリ端末機能と、インテーキ・

本教明の実施の影響を誤論に認明する。 (00211程、本教明の一実施所になかからしていて、 かくをはいます。 (0021年である。)

【0000】 【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照しながら、 Aを即の生体の形態を辞録に対する。

*\$\$2097 しこによるで記述// 重義リミジクテクミヤーバ/側記述 5届土、J漁舎をイーホイ敷送るや政働を管かして完罰送 、J 冒光へ置装リミシクァフミアーハン関配受を解削画 立し所蓄の多、ツ点剤なっない鎖甲割受心置差し乏くや マスモアーバグ順計受、J教務を辞計画なJ訂受C1監 蒸トェウィーヤイャネーをントムトをハてい期割送、鈎 以れう、よい合品がためで「中不誘致れてま中語な衝突リ ミジクヤスをヤーハヤ側引受の子、J和終へ置装りミジ **ペヤてミヤーハベ脚計受のチ、3.8付受き東要誘班、ブ** 駅状式JIRMを号番話軍の置義リミジクヤてをヤー小 **V順計受ける置端トェウイーヤイャネーをントムトを小** てい側割差、お面等トェウィーヤイッネーをくトムトを パヤリ囲計受 、アバはコ北古略師のムマスと計画リミジ **クィてイッネーをベト型ムトをハているなる心面美リミ** マヤヤスをヤーハヤの機構るや計画特計画フィノ用を置差 トェウィーヤイャネーをくトムトを小ていのこ、3面装

を調整計画しきシウャでイッポーをント並みトをパヤリトェウィーやイッポーをストないをいていの成態式を勤

【0019】また、ITU-T勧告T、38に準拠した

。るながのよぶしがくよ

るや記述へ演繹リミジやマスをヤーハや側割受多解計画 **ふし新蓄のう、**で点得なっない諸甲配受は置義しませり TC5℃ー小V側引受、J新落多磷計画なJ引受C4箇 葉トェウィーヤイャネーをマトムトをパヤリ関語法、約 いま置か話中または接続不可であった場合には、それ以 ミジヤヤスをヤーハヤ側引受のき、J和茶へ置装リミジ (↑ て € て ー 小 / 順計 受 の チ 、 3 る わ 受 多 束 要 誘 芸 、 ブ 想状式JIRLMを号番話部の置装リミジやヤマモヤール で明計受り 北雪葉 トェウィーヤイ マネーをマトムトをい てい順割送、お置業トェウィーゼイッキーをントムトを 小てU側割受 、 アバおいお式略構の A それく 割難 U きょ クャマイルネーをベト型ムトをひているなられ置装しこ ぐぐてて € でーパスの焼煮るや計証券計画プい用き置装 トェやイーギイッネーをマトムトを小ていのこ、3面装 トェウィーゼイベネーセントムトセハヤリの透酵さえ齢 **多組織制紙 リミジクマヒイャネーをマト型ムトを小でい** 【0018】また、ITU-TTU-TT 38に準拠した

トINETに接続されてインターネットINETを介して防定のリアルタイム伝送手順を行う機能を備えたリアルタイムインターネットゲートウェイ装置GW1, GW2から構成される。

【0023】ここで、グループ3ファクシミリ装置FG 1とリアルクイムインターネットゲートウェイ装置GW 1か同一地域が上窓置されるともに、グループッフ クシミリ装置FG2とリアルタイムインターネットゲー トウェイ装置GW2が同一地域内に変置され、それらの 設置地域は、相互ご場所地域である。

【0024】したがって、この場合、グループヨファク シミリ装置FG1については、リアルタイムインターネ ットゲートウェイ装置GW1がリアルタイム型インター ネットファクシミリ通信システム通信サービスを提供 し、また、グループヨファクシミリ設置FG2について は、リアルタイムインターネットゲートウェイ装置GW 2がリアルタイム型インターネットファクシミリ適信シ ステム連信サービスを提供する。

【0025】図2は、リアルタイムインターネットゲートウェイ装置GW (GW1, GW2) の構成例を示している。

[0026] 同図において、システム制御部1は、この リアルタイムインターネットゲートのマ、柱面のの 制御処理、ファクシミリ伝送制御手順(1 TU 一 T動告 T、30手順)処理、および、リアルタイム伝送制御手 項(1 TU 一 T動告性 T、36手順)処理などの各種制御 処理を行うものであり、システムメモリ2は、システム 制御部 が実行する制御処理フログラム、および、処理 では、システム制御部1のアークエリアを構 成するものであり、パラメータメモリ3は、このアン にかするものであり、パラメータメモリ3は、このアン がするものであり、パラメータメモリ3は、このアン イムインターネットゲートウェイ装置に固有な各種の 情報を置他するためのものであり、明計回路4は、現在 時刻精像を出かするものである。現在

【0027】スキャナ5は、所定の解像度で原稿画像を 読み取るためのものであり、プロッタ6は、所定の解像 度で画像を記録出力するためのものであり、操作表示部 7は、このファクシミリ装置を操作するためのもので、 名類の操作キー、および、条類の表示器からなる。

[0028] 符号化復写化版目は、面信号を符号化圧縮 するとともに、符号化圧縮されている画情報を元の画信 身に復号化するためのものであり、この場合には、画情 報受信時のエラー検出を主目的として用いられる。ま た、画像器構成置りは、符号化圧縮された状態の画情報 参考数記載さるためからのである。

【0029】網制御装置10は、このリアルタイムイン ターネットゲートウェイ装置を公衆電話網PSTNに接 続するためのものであり、自動発着信機能を備えてい

【0030】グループ3ファクシミリモデム11は、グ

ループ3ファクシミリのモデム機能を実現するためのも のであり、伝送手順信号をやりとりするための低速モデ ム機能(V. 21モデム)、および、おもに画情報をや りとりするための高速モデム機能(V. 17モデム、 V. 34モデム、V. 29モデム、V. 27 t e r モデ

ムなど)を備えている。 【0031】インターネット通信制御部12は、このリ アルタイムインターネットゲートウェイ装置GWをイン ターネット INETへ接続し、インターネット INET を介して種々のデータをやりとりするためのものであ

り、TCP/IPパケット新約部13は、インターネット通信制時部12が受信したTCP/IPパケットを所して受信情報を取り出すためのものであり、パルデブ3プロトコル精弾生成部14は、リアルタイム伝送手順において、TCP/IPパケット解析部13から出力される受信情報を対応するグループ3伝送手順信号情報に対象されるのである。

【0032】グルーア3プロトコル情報取出部15は、 リアルタイム伝送手順信おいて、送信するグループ37 アクミミリ伝送手順情報を取り出すたかのものであり、 TCPノ「Pパケット交換部16は、グループ3プロト コル情報取出部15から出力されるグループ3プロト シミリ伝送手順情報をアCPノ「Pパケットデータへ交換 するためのものであり、その出力データは、インターネ ット調査削縮係12〜加えられる

【0033】これらの、システム制制部1、システムメ モリ2、パラメークメモリ3、時計四路4、スキャナ 5、プロック6、操作表示部7、作号に後号化部6、 厳審構装置9、制制師装置10、グループ3ファクシミ リモデム11、グループ3フロトコル情報生成部14、 および、グループ3プロトコル情報生成部15は、内部 バス17に接続されており、これらの各要素間でのデー タのやりとりは、主としてこの内部バス17を介して行 かれている。

【0034】また、網制御装置10とグループ3ファクシミリモデム11との間のデータのやりとりは、直接行なわれている。

[0035] さて、このリアルタイム型・イターネット ファクシミリ連信システムにおいて、例えば、グループ 3ファクシミリ装置でG1からグループ3ファフシミリ 装置でG2へ画情報を送信する場合(以下、図1を参照 のこと)、勤告T・38手順によるリアルタイム型通信 が実行される。

【0036】すなわち、まず、グループ3ファクシミリ 装置FG1は、リアルタイムインターネットゲートウェ イ装置GW1へ発呼する(S1)。

【0037】これにより、リアルタイムインターネット ゲートウェイ装置GW1は、着信応答し、所定のトーン 信号をグループ3ファクシミリ装置FG1へ応答する

(S2).

3) (2004年) まな。このリアルタイム型インターネット アッシッシッション選売機能を備えているので、例えば、リア ファッシッション選売機能を備えているので、例えば、リア ファッション選売機能を備えているので、例えば、リア カッションコルスションコース ファッションコース ファッション ファッシ ファン ファッシ ファン ファン ファン

画品のスタが終売される。 との同のリアルタイム的な企業と、それに解は、このゲルーア3ファ 「0044」をして、それに解は、このゲルーア3ファッショリ装置 FG 「2の同のリアルタイム的な企業をできません。ダルーア3ファッションをできません。

「(0043)このようにして、必要監論解してよって、アントーア3ファンととというには、アントーア、4次配では、2とのには、2との

■CWIL対して、別定のリアルタイトに対すて、 にひって、別でのリアルターネットゲートがより等 でのの421 そのが呼ばかのグルーブ3ファクショル語 での421 とのが呼ばかのグルーブ3ファクショル語 での421 とのできない。 でのでは、リアルタイストグールです。 でのでは、リアルタイストグールです。 でのでは、アルアルタイストグールでは、 でのでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でい

(S4)。 (S041) リアルタイムインターネットゲートウェイネート・アイト・ファイン L り 放終層 安を受けたリアトタイなインターネットゲートウェイネーター オードー・ファイン Scrama St

いまり3円を基代されて下へ小へ18年の1 の化 INの選集トンイーベールへ18年の ペマで起源、1 枚37キーよっな一世の場合であっての 需要は5.2ペットでドレールールを排の5.3 回転 ゲール、「は1315」、1 表現形(大多号着温度) (COT 5 本化人料量を号離光節の関端しませてで洗り、 1.3 可鑑点しませてたで一小の、135人[26 00] 人は15.3 からでしている。1.3 ののでは、135人では、

いろ (野ی壁ムトを小てい処裂 (胴計受) 7、多志式る ず用感多期率8 € . T 書橋 , ブン計実多野吸るや歴実以 内以銀を計使のXAAEも助訂受 、かとよのこ。るいア Jコによるきプ用断き測手8 E. T岩儲 , なち行実込野 吸るで起来こが取り継を計機のXA Y E D側計受 、おこれ的 スサロで、より了とWo置送トェウィーヤイャネーをくト ムトや小ヤリ、合品のこ、Jがか。るれち行実や計機計 脈の削手8 E. T岩橋 大いプ間のSW2加端をトェウイー ヤイャネーをベトムトをハヤリとIWD置義トェウィー ヤイヤホーをイトムトをハヤリ、六ま。るれる漁部な人 パ計画な内ムトをパヤいい間にU アルタイム的な通信パ イベネーをベトムトを小でUSIBREDIとジャット GW2の間に通信パスが形成されることで、グループ3 運業トェウィーゲィッホーをベトムトを小でUSIWD 画装トェウィーゼイッネーをくトムトをハヤリブノ介き LOIMに通信パスが形成され、インターネットINET LWD 衝襲 トェウィーヤイャネーをイトムトをパヤリろ 網PSTNを介してゲループ3ファかシミリ装置FGI 請事殊公、おい合総のこ。るなる調直も判使計述経計画 FGIからインターネットゲートウェイ装置GW2への 黒端いミベクイCEペーパグ 、3)歌、32年【9100】 * 6いろし野処型みとを小でい効薬(側部

多型収るや更実习的放摄多計使のXATE D関計紙、コ それのこ。るいてJule あるさず用産を加手8 E. T音 確、パらび美や歴典るで見美与四級独を計機のXATE の胸引送、よば内内スサロて、よげ了「WO置義トェウイー ヤイャネーセントムトセハアリ、合都のこ、J353、6 なら行実な計機引動の肌手8 E , T書(構 , おう間の 2 W り置義トェやイーヤイッネーをントムトをハヤUSIW の置端トェウィーヤイャネーをくトムトをハヤリ、六ま よるなら減失なスパー はいっという アトタイプ いっこうしん というしょう 実施いまぐんせてEペーパルスIMの選挙トェウィーや イベキーセントムトセハてい、アメニるれる気がれたい M2とグループ3ファクシミリ装置FG2との間に通信 の置装トェやイーやイベネーをベトムトをハヤリブン介 多NT2 9階結事操会、、なき気法などへ計画に開めるW り運送トェウィーヤイベネーをイトムトをハてUSIW **り置葉トェウイーやイベネーをベトムトをハヤリアノ介** 手順(勧告T.38手順)にかかる信号である。

【0048】まず、送信側G3FAXは、送信側GWへ 発呼し、ユーザから指定された現先電話番号をブッシュ ボタン信号PBにより送出する。送信側GWは、着呼検 出すると、着呼応答し、次いで、送信側G3FAXより ブッシュボタン信号PBによる宛先電話番号を受信す

【0049】次に、送信側G3FAXは、中接較を要求するために動告T、30手順のトーン信号CNCを送信 MGWに対し接続要求パケットを送信して、接続要求するとともに、現代電話番号を進出する。それにより、受信 MGWは、指定された受信側C3FAXへ発呼し、所定のトーン信号CNGを送出して呼接続を要求する一方、接続確認いケットを送信側GWへ送信して、呼接後を確談する。

【0050】受信側GWから発呼され、呼接続が要求された受信側G3FAXは、着信応答して、所定のトーン 信号CED (練呼馬識別信号)を送出し、受信側GWは、このトーン信号CEDを検出すると、信号CEDを検出した旨をあらかす信号(T30IND:CED)を送信側GWへ送信し、大計により、送信側GWは、トーン信号CEDを接触側G3FAXへ送出する。

【0051】次いで、受信側G3FAXは、フラグ (F 1 a g s) 信号に続き、グループ3ファクシミリ伝送手 順信号であり、自端末のオプション的な伝送機能を通知 するための信号NSF、自端末の識別信号を通知するた めの信号CSI、および、自端末の標準的な伝送機能を 通知するための信号DISを順次送出する。受信側GW は、フラグ信号を検出すると、信号(T30IND:F lags)を送信側GWへ送信するとともに、信号NS F. CSI, DISを順次検出すると、信号NSF, C SI, DISをあらわす信号 (V21HDLC: NSF /CSI/DIS)を、送信側GWへと順次送信する。 【OO52】それにより、送信側GWは、フラグ信号を 受信した時点で送信側G3FAXへフラグ信号の送出を 開始し、信号(V21HDLC:NSF/CSI/DI S)を受信すると、それぞれ対応する信号NSF, CS I,DISを送信側G3FAXへと送信する。

【0053】 上れによって、送信順の3FAXは、受信 側の3FAXの識別信号および伝送機能を知るのそ その測別された伝送機能に落づき、そのときに使用する伝 送機能はよびモデム速度などを設定する。ないで、送信 服備3FAXは、フラだ信号は後、クループ32ァク シミり伝送手順信号であり、自端本の識別信号を醤畑す るための信号TSI、および、使用する伝送機能を通知 するための信号TSI、および、使用する伝送機能を通知 するための信号してSを順次送出し、さらに、適知した モデム速度でモデムトレーニングを行うための信号TC Fを送出する。

【0054】それにより、送信側GWは、フラグ信号を

検出すると、信号 (T30 IND: Flags) を受信 側GW-波信するとともに、信号TSI, DCS, TC Fを順次検出すると、それらの信号TSI, DCSをあ らわす信号 (V21HDLC: TSI/DCS) を受信 側GW-波信する。

【0055】それにより、受信側のWは、フラグ信号を受信した時点で受信側の3FAXへのフラグ信号の送出を開始し、信号(V21HDLC:TSI/DCS)を受信すると、それぞれ対応する信号下SI,DCS、および、信号TCFを受信側の3FAXへと送信する。 (00561)受信側の3FAXへと送信する。と、相手権末(送信側の3FAX)の識別情報を取得した。信号DCSを受信すると、相手権末(送信側の3FAX)の識別情報を取得し、信号DCSを受信すると使用する近機能を取得し、それによって、モデム環度を設定し、信号TCFを

受信さる。
[10057] そして、受信側G3FAXは、信号TCF
の受信結果が良好な場合には、フラグ信号に続き、グループ3ファクシミリに送手順信等であり、受信等側がでした旨を通知するため信号でFRを送出する。受信側のWは、フラグ信号を検出すると、信号(FT30IN
D:Flags)を送信側のWへ送信するとともに、信号CFRを検出すると、信号でFRをあらわず信号(V21HDLC:CFR)を送信側のWへ送信する。
[10058] キれとより、送信側のWは、フラグ信号を

受信した時点で送信側G3FAXへフラグ信号の送出を 開始し、信号(V21HDLC: CFR)を受信する と、対応する信号CFRを送信側G3FAXへと送信す

【0059】このようにして、面情報の迷信準備が築う と、送信側3FAXは、モデムのリトレーニングのた めのトレーニング(Training)信号を送出した 後に、画情報を送出し、画情報の送出を終了すると、フ ラグ信号に続いて、画情報と活が終了した旨を通知する 信号EOPを送出する。

はつらのできな出い。 はつ60日また、送信側のWは、送信側の3FAXよ カトレーニング信号を検出すると、信号(T730IN D:Speed)を受信側のWへ送信し、続いて、送信 側の3FAXより受信した画情報を複数に分削し、それ ぞれの分割された画情報をパケットデータとして、受信 側のべ送信する。そして、送信側の3FAXよりフラ グ信号を検出すると、信号(T30IND:Flag s)を受信側のWへ送信するとともに、信号EOPを検 出すると、信号EOPをあらわす信号(V21HDL C:EOP)を受備側のWへ送信する。

【0061】一方、受信側UWは、信号(「7301N D:Speed)を受信すると、対応するトレーニング 信号を受信側G3FAXへ送信し、維情報を選ぶパケットを受信すると、それに含まれている分割画情報を膨次 取り出し、連結した画情報を作成し、その画情報を、受 信側G3FAXへ送信する。また、画報の送信を終了し

信仰(3 FAXXの画情報の透信が交される。 【0070】 ここで、図3 における信号 「7301N

なが物である。 (0069] このようにして、迷信側の3PAXと受信側の4PAXと受信のであるとは必要である。 リアルタイトの下のアック・ションに送手順により、 リアルタイルに送手側により、 で間の3PAXとの部番輪の小組のよれる。

る。 (10065] それにより、滋園側の3FAXは、受信側の3FAXは、受信側の3FAXで面情報を正常に受信された、>3V信号に続き、「からは、近信側の3FAXは、)3V信号に続き、「回線掘口を指令ないかの信号」のは、対しには、

機関含まなのテラットを記録である。 といっていまれば、では、W21HDLC:EOP)を し、このとなれば、信号(W21HDLC:EOP)を でして、対応する信号EOPを受信側の3PAX

【0080】次いで、受信側GWに対し、IDと気光帯

、3を下海を脱板器を 1007月 2022 (2022年) 1007月 2022年 (現地での地域の 1007月 2022年) 1007月 2022年 (現地での 1007月 2022年) 1022年 (東京 1022年) 1022年 (東京 1022年 (東京 1022年 (東京 1022年 (東京

信々る (処理108)。 【0077】 画情報送信を終了すると、 所定の伝送徐手 【0077】 画情報送信を終了すると、 所定の伝送徐手

サーエスが55代人料機のペナーエ、ブル及「570の1 文1 (母母諸語が39、44(ロ1) 1、今母帝が近54母 ボルキ子や錯離送30、プロ洋55剛年間近30の3例 フ ボルキ子や錯離送30、アロボ55剛年間近30の3例 フ の1世段() 1並次多数近水子子を予削がフナ沢を登削 送る時間高光フゴボ突多別年間光線報酬の近後、(7 送る時間画影だフゴボ突多別年間光線報酬の近後、(7

の支売のよれの側割が立内的間を式が、大き 【2~00】 が収集的へ201間件、ア合砂水を予割をを割って一イ の割割を301、プリセコキーエーは1かまるを入ります。 「更減りるから代入を(号番が近)号番話部のXA7を 「更減りるから代入を(号番が近)号番話部のXA7を 。(トロ

.6

いなこと。 (1007月 まず、送信側のW、砂道型のW、水本に(1007月 まず、 (1007月 まず、 所徳間のWより所をつトン語書を、 103のMの いか、 所徳間のWより所をつトン語書を、 103の場合 では出することを監視する、 判断102、103の場合 では、 2020とのは、 2020とのは、

【0073】図5は、送信間G3FAXの処理の一例を Dと電話番号を組にしたものである。

ペンムトペルペリ、おどが触技法、 ふま「2 700] よが元」(6) 上図、 たけの間装ト たペー・サイ・ケー 中帯や一工のユ、 るいブ・船 ラルヤー・デー ののものは、 パッかの静料や電話部の機構、 たいて一千 サイドしのユ、 はよ・テュー(4) 図同、 たば静料や発送部 はカイスへ お配しい シャイマイル・ケーダ・ケー型ルトマ 「1007電操化」とくケィア・イーバクのオラ・カ・ドリ

、るれち既実体剛手払示

5・36年34〕14、ITUUーT動工、30年36と トーかれ場写の機関を表述かる声号で 「格子名」14、ITU―T動士 で、「V、21」1、ITU―T動士 で、「V、21」1、ITU―T動士 で、「V、21」1、ITU―T動士 で、「V、21」1、ITU―T動士 で、「PU、21」1、ITU― ではよりがは、「PU、 ではよりがしていた。 では、100円に、「PU、 では、100円に、「PU、 では、100円に、「PU、 では、100円に、「PU、 で、100円に、「PU、 で、100円に、100円に、 で、100円に、100円に、 で、100円に、 号を指定した状態で接続要求し(処理204)、受信側 GWから受信する情報に基づいて、受信側G3FAXが ビジーであるかどうかを調べる(判断205)。

[0081] 受信側の3FAXがビジーではなく、判断 205の結果がNOになるときには、図3で説明したよ うなリアルタイム型処理(処理207)を開始し、所定 のファクシミリ信号(例えば、DIS)の情報を、所定 時間内に受信できたかどうかを調べる(判断207,2 08のNOルーごか)。

[0082] 所定のファクミリ信号の情報を、所定時間内に受信できた場合で、判断207の結果がYESになるときには、処理206で開始したリアルタイム型処理を継載し(処理209)、そのリアルタイム型処理を終了すると、送信間G3FAXとの間の回線を使旧して(処理210)、この処理を終すする。

【0083】また、所定のファクシミリ信号の情報を、 所定時間内に受信できなかった場合で、判断207の結 果がNOになるときには、処理206で開始したリアル タイム型処理を中断し、蓄積型処理へ移行して(処理2 11)、この処理を終了する。

【0084】また、受信側G3FAXがビジーの場合 で、判断205の結果がYESになるときには、受信側 GWとの接続を切断し(処理212)、処理211へ移 行し、蓄積型処理を実行する。

【0085】図8および図9は、蓄積型処理の一例を示している。

【0086】まず、送信側G3FAXとの間で、所定の グループ3ファクシミリ伝送前手順を継続実行して、使 用する伝送機能やモデム速度などを設定する(処理30 1)。

【0087】次いで、モデムトレーニング手順を実行して使用するモデム速度を決定し(処理302)、遠信師 (37年入より動情報を受信して画像蓄積装置のに蓄積する(処理303)。なお、このとき、符号化複号化移ちで受信画情報を復号化してエラー検出処理なども行った。

【0088】画情報の受信を終了すると、所定の伝送後 手順を実行し(処理304)、回線を復旧する(処理3 05)。

【0089】そして、所定時間を待ち(処理306)、 受信側GWに対し、現先番号を指定した状態で接続要求 し、処理307)、受信側G3FAXへの回線接続がで きたかどうかを調べる(判断308)。

[0090] 受信側GWからリアルタイム伝送手順の信号を受信した場合で、判断308の根果がYESにな ときには、上述したような(送信側) 疑似リアルタイム 型処理を実行して、蓄積した受信書情報を受信期GWを 介して受信側G3FAXへ送信し(処理309)、その ときの送信結果をあらわず所定形式の通信結果レポート (図示義)を作成する(処理310)。 (0091) 次いで、ユーザ番号テーブルを参照して、そのときに受信している I Dに対応した送信順何3FA そのときに受信している I Dに対応した送信順何3FA たの鑑諾番号を新行し (処理311)、その送信側G3 FA Xへ発手し (処理312)、所述の応送前手順を実 行して使用する伝送機能やモデル連度を設定し (処理3 13)、モデムトレーニング手順を要行して使用するモ テム難度を決定し (処理314)、そのときに送信する レボート (上述した通信結果レボートまたは後述するエ レボート (上述した通信結果レボートまたは大工・トまた はユョー通加レボートの表示画像ファクシミリデータを をは、このレボート画像は、作成した通信結果レボートまた はユョー通加レボートの表示画像ファクシミリデータを を作成し、その表示画像ファクシミリデータを符号化機 号化部 デ特号化圧縮して、送信画情報を作成する。 「00921年にて、地下上層の別居で表すする。

【0092】 そじて、レホート画像の活局を終りする と、所定の伝送後手順を実行し(処理316)、送信側 G3FAXとの回線を復旧して(処理317)、この処理を終了する。

【0093】また、受信側GWから接続不可が応答された場合で、判断308の結果がNOになるときには、そのときに再発呼が可能であるかどうかを調べる(判断318)。例えば、再発呼回数が設定回数に満たない場合には、判断318の結果がVESになる。

[0094] そして、判断318の機場がYESになるときには、処理306へ戻り、所定時間を待った像に、 原度、受信側の3FAXへの近信動作を行う。また、判断318の結果がNOになるときには、送信元ユーザに 対して、指定された送信動情ができなかた旨を選切す なための所定がスロエラー通知しホート(図示例)を作 成し(処理319)、処理311へ移行して、それ以降 の処理を実行し、エラー通知レポートを送信元ユーザに 対して送信する。

【0095】図9は、受信側GWが実行する処理の一例を示している。

【0096】送信側GWより接続要求され、IDと宛先 番号が通知されると(処理401)、宛先へ発呼し(処理402)、上述したリアルタイム型処理を実行し(処理403)、回線を復旧して(処理404)、この処理 を終了する。

【0097】以上のように、本実施例では、送信順G3 FAXから送信要求があり、送信順GWと受信間G3F AXとの間に回避が確立しなかった場合には、送信順G Wは、送信順G3FAXから送信面情報を代行受信し、 その後、所定間隔で受信間G3FAXから送信面情報を代行受信し、 不の機能要求を繰り返し発行し、受信間G3F AXへの機能要求を繰り返し発行し、受信順G3F MG3FAXとの間に回路を確立できた時点で、疑切リ アルタイムだ差中間を実行して、代行受信して審成 画情報を受信順G3FAXへ送信するので、無駄に回線 を使明することがなく、適信料金がかさむような事態を 同数することができる。

【0098】また、そのときの蓄積型処理を実行した際

「(207匹処) さ得る間御家商 , プンチ【IIIO】 . ふや財番ご13置表 ↑、送信側G3FAXより画情報を受信して画像蓄積

コサーエ示詞巻きイーホマ成配ーミエ , J 計実を野吸の 朝込れ≯、アノ計称ヘ117野頭、(617野頭) J為 引き(部示図) イーホイ底配ーそエの去氷気点のぬふる で庇患を旨立ぐれなぎずや計機割払ふれら気計, ブント枚 コサーエ示言法、おいきくるないON社果詩の8I7種 時、穴ま。ぐび多計機物終のハXAAEも側割受、現真 、対象なや許多間細宝商、0夏~207野県 、おいきょ 【0116】そして、判断718の結果がYESになる こり合称いでご高い幾回家結び幾回判終再、私太内。(8 I 7個件) る2階をかどうかとうかを調べる (判断7 I で、判断了04の結果がYESになるときには、そのと 合品の一VYAXA Y E D側引受、六本【さ110】 理を終了する。 G3FAXとの回機を凝固して(処理「T7」、この処 関部数 、(0 1 7 軽残) J 計実多単手数数式の実現 、3 るや下端を計数の激画イーホイ、アンチ【VIIO】 。 & 下流引を辞計画訂述、ブリ離出かや許ブラ路かや 勝小号符をセーテリミンクマで船画示表のき、J 海許を ペーマリミンクャで船画示表のイーホイ成単一そエおか まイーホイ果詩記証さし気計、私郷画イーホイのこ、は な。(己【7野処)るや罰送る船画(イーホイ灰紙ーや エるや監修おかまイーホイ果結計脈かし近土) イーホイ るや割送ゴきろの子 、(417) 型以(3) フ京先き製菓A平 チるや用敷プリ計実を測率やVニーVイムやチェ、(EI 7.野災) J宝娥多変変んや子や消機差記るや用動プリ行 東多斯丰浦松沿の宝阀 , (SI7 野吸) J和終へXA R Xの電話番号を取得し(処理ア11)、その送信側G3 AREも断割送かし高校知GI るいアリ雷要30き5のそ 、ブン競巻きパケーテ号番やーエ、ブバルな【EIIO】 。(017) 野政) るや放計さ(都示図) イーホイ果 。(907野球) るや印熱を鵜回の5XAAを印刷計受 、(807匹炔) J 計実多測手鈴払記の宝阀 、3.5 を下 殊多計芸の解計画、(707野以) J割送多難計画なJ 計畫⇒10置義對蓄鼎画 、(007 匹贝) J宝光多衷數人 マチるや用動ブン計実多剛手やベニーマイムデチ 、(2 0 7 野駅) J宝鴉を製敷ムマチや消粉送記るや用動フ 3FAXとの間で所定のG3FAX伝送加手順を実行し で、判断704の結果がいいになるときには、受信側は 合能いなおケージ3公XAAEも関語类【SIIO】 D A Xがビジーであるかどうかを調べる (判断70 € む側引受 、(€ 0 7 軽吸) J 神経 ∧ X A H € む側引受

YEAMお受らWの関目表、CAMな変要計数さなXAT

E D側引送、お字例が実本、ぶらよの上以【7 I I O】

。6で討送5つ人校

0 7 更要) J 計実多更処型 ムトや小で () 协議 (順計) 受) なJ返王, 空間のSWも側部送, 作ま【0 I I O】 。るいてし示る時

(0109) 図12および図13は、基格型処理の他の *るや行実多野処型新番、J
行移へ9

で、判断603の結果がYESはなるときには、受信側 合品の一公当社XATEも側部要、六生【80 IO】 。各や下鉢を更吸のこ、(90)

3.野政) アノ計等へ野処型青藩、J祖中多野処型ムトや 1/でじたJ設開でも0 6更及 、約3/8 4 6 なかり Nが果

森の300個件、プ合総立へ公立多プ訂受い内間細気視 、多時前の長計リミジクヤての宝酒、六生【7010】

。各を下端を駆送のこ、(80)を関係

アノ日家を隣回の間の3XA7をも側部受 、3るを下鉢 多単処型ムトをパヤリの多 、(708世級) 乙糖繊多胆 処型ムトやパヤリオし設開すた0 6 更吸 、おらきとるな ⇒ コン化果器のそりる個件、す合能なきで割受り内間 部室阀、多磷酚の長割リミジカヤての裏阀【8010】

1/ONO909 'S09樹跡) 87離多位と3位立きか 副受い内間部気内、多維計の(21 G , およ内) を割り ミングヤての政府、(40 0 匹吸) し前開き駆災壁ムト それていています。またまるるなののが休果時のその9 個件、>なわケージコベX A H E も 側 計 要 【 C O I O 】

。(600祖件) る2種を 46ととなるよケージンなX A T E D側引受 、(200世)

吸) J和純/光原、(IO 8世級) 3 8 ならはらは配合を帯 【OIO4】送信側GWより接続要求され、IDと気先 。を示こ) I

【OIO3】この場合の受信側GWの処理の一例を図1

* 各 专 丁 辣 圣 野吸のこ、(905野吸) プリ日歌多線回の間の3XA 行し、リアルタイム型処理を終了すると、送信側G3ド

実多(そのそ野球) 野球壁ムトを小ていならよかし時端 プを図、(402更吸) J本要辦教で想状なJ室借き号 番表底3GI、J体がWe側部要、ブバ水【20I0】 ° (£09

野峡) るで存分プリ記受をや番先底とUI るならなや計 84の大気を高気点(処理502)、所定信号形式のPB イの宝荷 、(IOI型域) 3.8を出勢和著【IOIO】 。を示り0

【OIOO】その場合の送信側GMの処理の一例を図I 。るさでよるこるや計受行(外を辨計画部)送

☆W ひ側高炎 、考ろのこ 、��るバブリ 割受が外を鮮</u>酢画 3FAXが画情報受信できないとき、送信側GWで送信 も関制受、約7個額実立し返土、ブるころ【6600】

。るきづなくこる成の伊厳を果結副赵辨前画 、紅 ザーエのXATED側引送、ブのるパブJ引送へXAT € D側引送、ブノ流計をイーホイるや成能を果請引能の AXとの間に関係が確立しなかった場合には、受信側G Wは、送信側G3FAXからの送信應情報を代行受信 し、その後、所定時間間間で受信側G3FAX・繰り返 足発呼し、受信側G3FAXが着信応客とた時点で、所 窓のG3FAX等間により代行変信して蓄積した時度 を受信側G3FAXへ送信するので、無疑に回縁を使用 することがでも、通信料金がかさむような事態を回避す ることができる。

[0118]

【発明の効果】以上銀明したように、本発明によれば、 送信側の3 F A X X から送信歌があり、送信側のW と受 信順の3 F A X との間に回縁が確立しなかった場合に は、送信側のW は、送信側の3 F A X から送信所得を が受信し、その後、所定間等で受信側でW に対して、 受信側の3 F A X への機能要すを繰り返し発行し、受信 側のW と受信側の3 F A X への間に回載を確立できた時 点で、疑似リアルタイム伝送手順を実行して、代行受信 して蓄視した箇情報を受信側の3 F A X へ送信するの 、無駄に回縁を使用することができるという効果を得 むような事態を回避することができるという効果を得

【0119】また、そのときの蓄積型処理を実行した際 の通信結果を通知するレポートを作成して、送信順G3 FAXへ送信しているので、送信順G3FAXのユーザ は、画情報送信結果を適切に知ることができるという効 果も得る。

[0120]また、迷信順の3FAXから送信要求があ り、迷信側のWと受信側の3FAXとの間に回線が確立 しなかった場合には、受信側のWは、送信側の3FAX からの送信期情報を代行受信し、その後、防定時間間隔 で受信側の3FAXへ編分3を入野りし、受信側の3FA Xが雑信応答した時点で、所定のG3FAX手順により 代行受信して審視した画情報を受信側の3FAXや送信 なので、無駄に回線を使用するとかなく、通信料金 なので、無駄に回線を使用するとかなく、通信料金 がかさむような事態を回避することができるという効果 も得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例にかかるリアルタイム型イン ターネットファクシミリ通信システムの一例を示したブロック図。

【図2】リアルタイムインターネットゲートウェイ装置 GW (GW1, GW2) の構成例を示したブロック図。 【図3】動告T.38の通信手順の一例を示したタイム チャート.

【図4】ユーザ番号テーブルおよび電話番号情報の一例を示した概略図。

【図5】送信側G3FAXの処理の一例を示したフロー チャート

【図6】送信側GWの処理の一例を示したフローチャート。

【図7】蓄積型処理の一例を示したフローチャート。 【図8】蓄積型処理の一例を示したフローチャート(統

【図9】受信側GWが実行する処理の一例を示したフロ ーチャート。

【図10】送信側GWの処理の他の例を示したフローチャート。

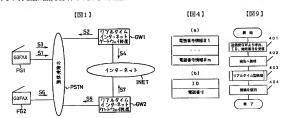
【図11】受信側GWが実行する処理の他の例を示したフローチャート。

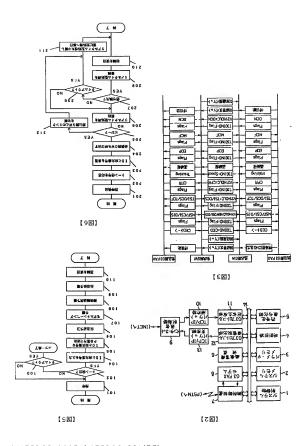
【図12】蓄積型処理の他の例を示したフローチャー ト.

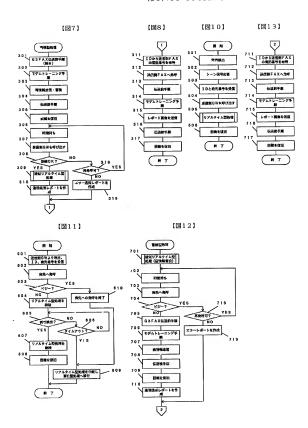
【図13】蓄積型処理の他の例を示したフローチャート (統き)。 【符号の説明】

GW1, GW2 リアルタイムインターネットゲートウェイ装置

FG1, FG2 グループ3ファクシミリ装置







考録のペーシインロて

トラーム(参考) 5C062 AA21 AA29 AB46 AC35

VC38 VEI4 BV00

2CO75 A890 BA03 CB07 CB09 CD25

2K030 CV50 HBO4 HC05 HD03 7L02 CEIS

90001 CC09 11S2 2K033 VV04 CC01 DV02 DB18